

港地域の “ ご近所 ” を切り拓く

ホットする、つながる・ささえあう「あつまる居場所」をめざして

港地域の団体・グループ紹介集



焼津福祉文化共創研究会

“港地域はひとつ”をめざして、「集まる居場所」を検証する

平成28年度から平成30年度まで3年間にわたり、いかに、「共助・近助の地域を再構築することができるか」を目的に、住民主体の企画運営により、「港地域ささえあい講座」(港第14・23自治会による組織体・港地域づくり推進会主催)を開講しました。

この講座運営に関わった実行委員有志と地域活動に関心を持つ市民(14名)が、これまでの講座の成果をさらに地域づくりに活かそうと、2019年4月に「志縁団体」として「焼津福祉文化共創研究会」(福文共)が誕生しました。

3年間の講座の取り組みの総括から、次の「10の地域課題」が浮き彫りになりました。

- (1)語れる地域環境の醸成(世代を超えた地域総合型学習形態のしくみづくり)
- (2)「地縁組織」と「志縁組織」の融合による地域づくりの取り組み
- (3)「専門性」と「市民性」の融合
(管内福祉施設連絡会とのネットワーク化と地域介護力アップ)
- (4)当事者組織化の支援
- (5)具体的な地域の生活支援策の把握
- (6)管内のささえあいの仕組みづくり
- (7)総合的地域支援組織の再構築(トータルコーディネート機能)
- (8)地域を「見える化」する広報啓発
- (9)制度施策を理解する地域福祉教育環境の醸成
- (10)ご近所福祉の復活

こうした、課題改善・解決に向けて、市民有志で結成した本会の初年度の活動テーマを「居場所」として取り組むこととしました。「居場所」と言えども、約5,000世帯をもって組織化されている「港地域づくり推進会」(第14・23自治会)管内において、今日まで、地域や個々の人々のつながりの中で、気兼ねなく集まり、会話を交わし、ふれあい交流し、普段の拠り処としている「居場所的機能」を持つ領域(既存の各種団体・グループ)はどのくらいあるかを、会員自ら把握する活動として取り組むこととしました。

そして、取りまとめた結果をもとに、さらに把握に努めるとともに、管内関係団体や住民に機会あるごとに情報提供し、改めて、こうした既存の団体グループの様々な取り組みを地域住民が共有し、積極的に地域参加する機会を呼び掛け、地域で顔の見える“近助”の関係づくりができるように働きかけていこうとする試みが本事業の根底にあります。

こうした活動をさらに発展させて、住民主体の新たな活動団体・グループの誕生を期待しようと、ここに「港地域の団体・グループ紹介集」を作成しました。家庭機能の希薄化とともに、地域社会の大きな変化の中で、人々の個人志向化・孤立化等、地域の福祉課題が大きな社会問題にも発展している今日、このたびの取り組みが、「地域ぐるみ居場所」の原点を探り、これからの地域づくりに向けた「真の居場所づくり」に活かされれば幸いです。

本事業にご協力いただきました団体・グループの皆様方に感謝申し上げます。

このたびの事業は、「静岡県コミュニティづくり推進協議会・コミュニティ活動集団助成事業」による本会活動の支援をいただき、「焼津市赤い羽根共同募金地域福祉促進助成事業」の尊いご配慮により実施することができました。ここに、謹んでお礼申し上げます。

令和2年 2月 3日

焼津福祉文化共創研究会 会員一同

「私たちの団体・グループの活動を紹介します」 目 次

- 1 はじめに — “港地域はひとつ”をめざして、「集まる居場所」を検証する
 3 「私たちの団体・グループ紹介集」利用にあたって
 4 「私たちの団体・グループ活動を紹介します」調査シート

頁	団体・グループ名	自治会	活動区分	継続何年	会員数
5	焼津福祉文化共創研究会	14・23	地域コミュニティ	1年	14名
6	いかずい北川原	14	地域福祉	2年	19名
7	石津ミニデイサービス	14	地域コミュニティ	22年	40名
8	祐心館ミニデイサービス	14	地域福祉	21年	34名
9	子育て広場ほっとポット港	14	地域福祉	14年	50名
10	ミニディにこにこサロンはまゆう	23	地域福祉	22年	41名
11	下小田上公会堂サロン	23	地域福祉	3年	77名
12	北新田公会堂サロン	23	地域福祉	3年	54名
13	田尻北公会堂サロン	23	地域福祉	3年	90名
14	うちの実家浜ちゃん家	23	地域福祉	8年	23名
15	会食サービスあじさいの会 港地区	14・23	地域福祉	36年	39名
16	石津中央港会(グランドゴルフ)	14	健康スポーツ	20年	31名
17	水天宮パノラマグランドゴルフクラブ	14	健康スポーツ	15年	45名
18	石津浜ラジオ体操会	14	健康スポーツ	27年	16名
19	天使の木の会	14	おしゃべり	5年	10名
20	下小田グランドゴルフクラブ	23	健康・スポーツ	13年	25名
21	田尻北浜グランドゴルフ親睦会	23	健康・スポーツ	20年	29名
22	港パワーズ(旧港倶楽部)	23	健康・スポーツ	30年	16名
23	なかよし会	14	健康・スポーツ	11年	5名
24	尺八・竹吹会	23	音楽	16年	7名
25	田尻北ゆりかもめの会	23	地域コミュニティ	4年	8名
26	みそづくりの会	23	趣味	18年	18名
27	さざなみ会(地域で子どもを育てる)	23	子育て	11年	16名
28	みなとっちサロン折り紙グループ	14	趣味	3年	3名
29	さわやかクラブ港支部(静友会)	23	地域福祉	15年	29名
30	さわやかクラブ港支部(若松会)	14	地域福祉	39年	39名
31	石津マートサロン	14	地域コミュニティ	10年	20名
32	ちよっくららっカフェ(認知症カフェ)	23	地域福祉	2年	20名
33	下小田中老会	23	地域コミュニティ	44年	24名
34	下小田防災機器管理者会	23	防災	11年	9名
35	港っ子サポータークラブ	14	子育て	2年	10名
36	栄田児童福祉会	23	その他	39年	19名
37	北新田中老会	23	地域コミュニティ	50年以上	50名
38	下小田下中年会	23	地域コミュニティ	50年以上	20名
39	静友会	23	高齢者	25年	29名
40	下小田ラジオ体操会	23	健康・スポーツ	38年	17名
41	エコクラブ同好会	14	趣味	1年	10名
42	第12町内会 新和会	14	地域コミュニティ	21年	9名
43	みなとっちサロン	14・23	地域福祉	4年	42名
44	第二町内会踊りの会	14	地域コミュニティ	20年	8名
45	石津岡青連会	14	地域コミュニティ	30年	24名
46	長寿会	23	高齢者	42年	50名
47	下小田食事会	23	地域福祉	5年	22名
47	下小田ミニデイサービス	23	地域福祉	11年	30名
48	親愛会	14	地域コミュニティ	40年以上	40名
48	庚申(こうしん)さん	23	地域コミュニティ	50年以上	8名
49	港第23インディアカクラブ	23	健康・スポーツ	34年	8名
49	紅才会	14	地域コミュニティ	65年	44名
50	遊快GA23	23	地域コミュニティ	21年	19名
50	笑会(わらうかい)	23	おしゃべり	1年	20名
51	石津フレンド(グランドゴルフ)	14	健康スポーツ	19年	11名
51	第二町内会祭典実行委員会	14	地域コミュニティ	30年	20名
52	新田バンド	14	音楽	27年	7名
52	北寿会(グランドゴルフクラブ)	23	健康・スポーツ	30年	30名
53	パピヨン	23	健康・スポーツ	25年	12名

54 資料編(事業経過報告、2019年度活動計画等)

「私たちの団体・グループ紹介集」利用にあたって

このたび、発行いたしました本誌につきまして、次の項目に留意して利用してください。

◇ここに紹介しました55の団体・グループは、本会会員が8月1日より12月28日までの約5か月間において、約5,000世帯をもって組織化されている「港地域づくり推進会」(第14・23自治会)管内において、今日まで、地域や個々の人々のつながりの中で、気兼ねなく集まり、会話を交わし、ふれあい交流し、普段の拠り処としている「居場所的機能」を持つ領域(既存の各種団体・グループ)はどのくらいあるかを把握し、これからの地域づくりに活かす目的で、基本シート(4頁参照)により、直接関係者を訪問し、またご了解のもとに作成した内容です。なお、調査時点を令和元年8月30日としています。本誌の取り扱いを十分気を付けて下さい。

◇団体・グループによっては、シートの項目の中で、空白部分がありますが、本会が全て取りまとめることなく、再確認・聞き取り訪問等を繰り返した範囲内で各団体・グループの事情を考慮してまとめました。細部、各団体・グループシートへの問い合わせは、「連絡先」または本会にお願いします。

◇各団体・グループシートの項目の組み立ては、次のとおりです。

A 団体・グループ名

- ・港地域づくり推進会(港第14・23自治会)管内のどの自治会領域かを明記してあります。
- ・団体・グループ名は、訪問調査時、または登録している名称を明記しています。

B 活動区分

- ・本会が組み立てた、次の「22の区分」を選択(複数回答可能)していただいた内容です。
(1)趣味 (2)健康 (3)地域コミュニティ (4)創作(芸術) (5)環境 (6)IT (7)高齢者
(8)障がい者 (9)子育て (10)多文化共生 (11)地域福祉 (12)教育 (13)防災 (14)収集
(15)農耕園芸 (16)歴史 (17)文化 (18)レクリエーション (19)音楽 (20)舞踊
(21)おしゃべり (22)その他

C 主な活動内容

- ・実際に取り組まれている活動内容を聞き取り等の範囲内でまとめています。
- ・新たな会員大いに歓迎するかを「有・大いに歓迎する」「無」で回答していただきました。

D 発足の目的(理念)・・・各団体・グループ誕生の経緯(思い)を聞き取りの範囲内でまとめています。

E 活動要目

- (1)活動時間・・・各毎週・毎月・年の開催・実施回数の回答と時間帯です。
- (2)活動場所・・・主な活動会場名を明記しています。
- (3)会場使用料・・・活動場所の会場使用料を支払いしているかの回答です。
- (4)会費・・・各団体・グループの活動運営に関わる会費徴収の有無の回答です。
- (5)運営費・・・会費以外に、各種補助金・助成金・寄付金等を受けているかの回答です。

F 発足年月

明確に回答のあった団体・グループについては、調査時点をもって継続年数をまとめました。具体的な回答のない団体・グループについては、聞き取りの範囲内でまとめました。

G 会員数

活動全てに参画している人数をもってまとめています。
ここでは、(1)男女別 (2)年代別 (3)区域(管内外)の3つの項目でまとめています。

H 連絡先

- ・各団体・グループのことについて、連絡・問い合わせできる関係者・団体先を明記しています。

私たちの団体・グループの活動を紹介します

団体グループ名	(1) 港第14自治会管内 (2) 港第23自治会管内
活動区分	(1) 趣味 (2) 健康 (3) 地域コミュニティ (4) 創作(芸術) (5) 環境 (6) IT (7) 高齢者 (8) 障がい者 (9) 子育て (10) 多文化共生 (11) 地域福祉 (12) 教育 (13) 防災 (14) 収集 (15) 農耕園芸 (16) 歴史 (17) 文化 (18) レクリエーション (19) 音楽 (20) 舞踊 (21) おしゃべり (22) その他
主な活動内容 (実績)	※具体的な活動内容と住民へのメッセージを紹介 ※新たな会員大いに歓迎 (有 無) ※写真1枚挿入
発足の目的 (理念)	
活動要目	(1) 活動時間 毎週 回 毎月 回 年 回 午前 : ~ : 午後 : ~ : (2) 活動場所 (有) 無 (3) 会場使用料 (有) 無 (4) 会費 (有 無) 円 (5) 運営費 (有 無)
発足年月	昭和 平成 令和 年 月 日 (継続 年) ※調査時点8月30日
会員数 (名)	(1) 男女別 ①男性 名 ②女性 名 (2) 年代別 ①10代 名 ②20代 名 ③30代 名 ④40代 名 ⑤50代 名 ⑥60代 名 ⑦70代 名 ⑧80代以上 名 (3) 区域 ①管内 名 ②管外 名
連絡先	〒000-0000 TEL FAX メール :

団体グループ名	港第14・23自治会管内 焼津福祉文化共創研究会
活動区分	(3)地域コミュニティ (11)地域福祉 (22)その他(福祉コミュニティ)
主な活動内容 (実績)	<p>1. 本会の活動基調 本会は、さまざまな福祉・ボランティア活動や福祉職に携わる人と市民と一緒に地域が抱える生活全般のさまざまな問題を考えその改善に努力していきます。 「3つの活動基調」 (1)専門性と市民性の融合による活動 (2)世代を超えた公開型活動 (3)地域の課題解決に向けた活動</p> <p>2. 活動内容 2019年4月発足した本会は、「志縁団体」として、「地縁団体」や各種団体等との協働活動をめざし、3つの活動基調をあげています。 (1)情報交換活動 (2)啓発・広報・調査研究活動 (3)人的交流活動 (4)研究会・講演会・セミナー等の開催 (5)その他、この会の目的を達成するために必要な活動。</p> <p>3. 定例会は、原則第2土曜日19:00～21:00 地域密着型・施設の社会化をめざす、管内介護事業所を会場(事務局)として、理論と実績を融合し合う学びの環境を創ります。</p> <p>4. 2019年度は、「赤い羽根共同募金地域福祉促進事業」「静岡県コミュニティづくり推進協議会コミュニティ活動集団助成事業」による「地域の寄り合い処の検証事業」に取り組みます。</p>
	 
	●新たな会員大いに歓迎 (有)
発足の目的 (理念)	<p>1. 誕生の経緯 市民主体で平成28年度から平成30年度まで、3年間取り組んだ「港地域ささえあい講座」(港第14・23自治会で組織されている(港地域づくり推進会主催)の実行委員を中心に、本活動に賛同した市民を基に誕生しました。介護保険制度の導入により、社会が一変したようにも感じる今日、今一度「近助」「共助」を取り戻すために、それぞれの地域の課題解決に向けて、市民一人一人が主体となり、さまざまな地域活動に取り組む「志縁組織」を立ち上げ、お互いに「協働」による地域づくりをめざしています。</p>
活動要目	<p>(1)活動時間 毎週 回 毎月 1回 年 12回 その他随時 19:00～21:00</p> <p>(2)活動場所 ディサービス百の木石津内 焼津福祉文化共創研究会事務局</p> <p>(3)会場使用料 (無)</p> <p>(4)会費 1,000円/年</p> <p>(5)運営費(予算化) 2019年度助成事業有</p>
発足年月	平成31年4月 (継続 1年)
会員数 (14名)	<p>(1)男女別 ①男性 8名 ②女性 6名</p> <p>(2)年代別 ①10代 ②20代 2名 ③30代 1名 ④40代 ⑤50代 4名 ⑥60代 2名 ⑦70代 5名 ⑧80代以上</p> <p>(3)区域 ①管内 13名 ②管外 1名</p>
連絡先	<p>平田 厚</p> <p>〒 425-0044 焼津市石津向町15-17(ディサービス百の木石津内)</p> <p>電話: 054-623-3665 FAX: 054-656-3731</p> <p>メールアドレス: momonoki2018@office.tnc.ne.jp</p>

団体グループ名	港第23自治会管内 パピヨン
活動区分	(2)健康・スポーツ、
主な活動内容 (実績)	週1回インディアカの練習をしています。 県4回くらい、市4大会などに参加し、日頃の練習の成果をためています。 ●新たな会員大いに歓迎 (有)
発足の目的 (理念)	インディアカを通して体を動かしスポーツを楽しみ仲間のつながりを大切に！！
活動要目	(1)活動時間 毎週 1回 毎月 4回 年 48回 19:00～21:00 (2)活動場所 港中体育館 (3)会場使用料 (有) (4)会費 500円/月 (5)運営費(予算化)
発足年月	平成6年1月 (継続 25年)
会員数 (12名)	(1)男女別 ①男性 7名 ②女性 5名 (2)年代別 ①10代 ②20代 ③30代 2名 ④40代 3名 ⑤50代 5名 ⑥60代 3名 ⑦70代 ⑧80代以上 (3)区域 ①管内 ②管外
連絡先	池ヶ谷弘行 〒 425-0032 焼津市鯛ヶ島 電話: 054-

焼津福祉文化共創研究会とは

本会は、さまざまな福祉・ボランティア活動や福祉職に携わる人と市民がいっしょに、地域が抱える生活全般のさまざまな問題を考えその改善のために努力していくことを目的とします。(本会規約抜粋)

◆「活動基調」

- (1)さまざまな分野で活動する人たちや福祉職に従事する人たちが、専門分野と世代を超えて交流を図ります。
- (2)会員だけが求心的・閉鎖的に集うのではなく、広く市民に関かれた活動をめざします。
- (3)既存の福祉組織の活動から取り残された問題や新しく発生してきた問題を大切に、つねに市民生活に密着した活動をめざします。

◆「活動内容」

- (1)情報交換活動 (2)啓発・広報・調査研究活動
- (3)人的交流活動 (4)研究会・講演会・セミナーなどの開催
- (5)その他、この会の目的を達成するために必要な活動

◆定例会研究会は、原則第2土曜日 19:00～21:00 地域密着型・施設の社会化をめざす、管内介護事業所を会場(事務局)として、理論と実践を融合し合う学びの環境を創ります。

◆年会費 1,000円

「港地域の団体・グループ紹介集」作成事業に関する経過報告

月 日	内 容
05/11	・第2回(5月)定例研究会開催 今年度の活動内容を協議 「居場所」議論の中で、管内における既存の集まる団体・グループの把握活動に取り組むことを確認するとともに、活動の財源確保について、関係方面に情報収集をする
05/22	・県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」申請書類取寄せ
05/28	・県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」申請書提出
06/06	・焼津市社会福祉協議会との連絡調整
06/08	・第3回(6月)定例研究会開催 本事業の企画書に基づき、調査活動の具体化協議
06/27	・県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」助成決定連絡あり
07/03	・焼津市社協に「赤い羽根共同募金地域福祉促進助成事業」申請書提出
07/13	・第4回(7月)定例研究会開催 本事業の展開状況確認、調査票の回収問題議論
07/22	・県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」交付式出席 ・焼津市社協より「赤い羽根共同募金地域福祉促進助成事業」助成決定連絡あり
08/10	・第5回(8月)定例研究会開催 本事業開始と展開確認 関係地縁団体等への協力要請
09/14	・第6回(9月)定例研究会開催 引き続き本事業の展開状況確認、調査票の回収問題議論 ・「焼津福祉文化共創研究会通信創刊号」発行し、本会事業の広報啓発に努める
10/19	・第7回(10月)定例研究会開催 引き続き本事業の展開状況確認、調査票の回収問題議論 ・「焼津福祉文化共創研究会通信第2号」発行 調査活動の動き掲載
10/27	・(株)セイコー社と協議 本事業の取り組みと成果物の作成に関する意見交換
10/28	・福祉コミュニティ関係者研修会開催 (自治会・町内会、民生委員、社協関係者等18名出席し、本事業中心に意見交換)
11/16	・第8回(11月)定例研究会開催 本事業の完成時期と今後の活用方法協議 ・「焼津福祉文化共創研究会通信第3号」発行 現地訪問受け入れ関連記事掲載
11/29	・本事業調査関係に関する第1回打ち合わせ会開催 調査シートとデータ入力方法検討
12/07	・本事業調査関係に関する第2回打ち合わせ会開催 調査票の入力作業開始と検討事項協議
12/10	・「焼津福祉文化共創研究会通信第4号」発行 福祉文化実践活動の現状と協働活動掲載
12/15	・第9回(12月)定例研究会開催 調査の回収・校正作業のメド協議
12/28	・回収シート修正作業取りまとめ
01/02	・本事業調査関係に関する第3回打ち合わせ会開催 ページ仕立てと校正検討内容
01/05	・本事業調査関係に関する第4回打ち合わせ会開催 ページ仕立て再考(～1/15)
01/09	・成果物について、(株)セイコー社と協議 今後の事業展開と成果物の取り組み
01/11	・第10回(1月)定例研究会開催 ページ仕立て最終確認 ・「焼津福祉文化共創研究会通信第5号」発行 「紹介集」完成と今後の活用方法
01/15	・第3回(株)セイコー社と協議 正式発注に関する協議
01/18	・本事業調査関係に関する第5回打ち合わせ会開催 最終校正作業実施(～1/28)
01/28	(株)セイコー社に発注
02/03	・「紹介集」納品 ・協力いただいた関係機関・団体・グループに「紹介集」送付
02/08	・第11回(2月)定例研究会開催 本事業総括と今後の継続的冊子活用協議
02/10	・焼津市社会福祉協議会に「事業実施報告書」提出 地縁団体等への協力お礼と連携要請

港地域の“ご近所”を切り拓く 「集まる居場所」で地域ぐるみのささえあいを検証する

1. 企画意図

過去には「居場所」という特化した福祉言葉ではなく、人々は、地域社会の中で自由に集まり、地域全体のコミュニケーション力で、お互いに日常的にささえあうことを当たり前のこととして生活を営んできた。

しかし、ここきて、高齢者の孤立・孤独防止や、子育てに不安をもつ世代への支援、また、地域社会になかなか溶け込まない世代対象への支援等、多様な福祉ニーズが浮き彫りになり、その問題解決の取り組みとして、地域社会で真剣に、意図的な「居場所事業」が取り組まれる社会に一変しつつある。

このたび本会が取り組む事業は、こうした社会の大きな変化に対して、地域の福祉課題解決の一つとして取り上げられている「居場所」のこれまでとこれからを検証する。

約 5,000 世帯をもって組織化された「港地域づくり推進会」（第 14・23 自治会）管内で、「居場所」の原点である、地域や個々の人々のつながりの中で、気兼ねなく集まり、会話を交わし、ふれあい交流し、自由に取り組まれている各種活動団体やサークル・グループ等が「普段の拠り処」として、日常的・主体的に、「居場所機能」を持つ領域はどのくらいあるのか、その現状を把握し、これからの地域づくりに活かす。

併せて、新たな課題解決に向けて、意図的に組織化され、「居場所」活動に取り組まれている現状を検証する。そして、「港地域ぐるみの居場所」のこれからについて、住民主体に議論し合う地域社会づくりを提案する。

身近な地域において取り組まれている様々な居場所の存在を「見える化」することにより、中高年の閉じこもり社会を防ぎ、さらには、男性の地域参加を促し、地域の自立化として、「地域ぐるみの居場所」を、世代を超えて地域住民に情報提供し、積極的に仲間づくりをし、「ささえあう港地域づくり」を働きかける。

本事業は、最終的には、教育と福祉、とりわけ「学校教育」「社会教育」、行政や企業と市民、専門性と市民性、地縁団体と志縁等との『融合』『協働』による『地域ぐるみの支えあいネットワークづくり』につなぐ第一歩となることを期待する。

本事業は、単年度事業で終わらせることなく、継続的な取り組みを基に課題解決・改善に向けて取り組むこととする。

2. 実施主体 「焼津福祉文化共創研究会」

3. 事業の展開方法

- (1) 「焼津福祉文化共創研究会」定例会（毎月第 2 土曜日 19:00～21:00）における研究協議の場具体的把握方法研究協議、調査票作成研究作業、把握項目分析・考察協議、事業の進行管理
- (2) 管内関係機関・団体、実践者との協議（説明・報告）の場づくりの工夫
- (3) 管内団体、グループ訪問・聴き取り作業の取組み（予備聴き取り作業を含む）
- (4) 調査活動の取りまとめと資料化
- (5) 今後、取り組んだ成果を地域社会にフィードバックする学び合う場の工夫

4. 具体的な展開

月	展 開 内 容	備 考
04月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第1回（4月）定例研究会開催 結成1年目の活動協議 （地域の課題整理作業） ➤ 「焼津市ボランティア連絡協議会」に加盟 	
05月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第2回（5月）定例研究会開催 今年度の活動内容を協議 「居場所」議論の中で、管内における既存の集まる団体・グループの把握活動に取り組むことを確認するとともに、活動の財源確保について、関係方面に情報収集をする ➤ 県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」申請書類取寄せ ➤ 県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」申請書提出 	
06月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第3回定例会（事業内容検討協議） ➤ 把握方法の具体化研究協議① ➤ 助成事業申請手続き（6/28） 	
07月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第4回定例会（事業の具体的展開協議と関係方面との連携） ➤ 把握方法の具体化研究協議② （フォーマット検討・性別・年代・募集有無・モットー・写真）（把握方法と分担） 	
08月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第5回定例会（関係機関・団体、グループ把握作業） ➤ 関係方面との連絡調整（発足動機、現状、課題等） ➤ 助成交付決定連絡（8月上旬） 	
09月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第6回定例会（状況把握と学習会企画） ➤ 関係方面との連絡調整（引き続き発足動機、現状、課題等） 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第7回定例会（把握状況意見交換） ➤ データ考察作業 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第8回定例会（把握状況意見交換） ➤ データ考察作業 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第9回定例会（事業まとめ検討） ➤ データ考察作業 	
01月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第10回定例会（事業の取りまとめ作業） ➤ 資料冊子化の検討・把握結果考察印刷（コピー）作業 	
02月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第11回定例会（関係方面との連携・事業総括と継続化の検討） ➤ 把握結果考察印刷資料化と冊子作成 ➤ 助成事業完了（2/7） 	
03月	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第12回定例会（事業の継続化協議と2年目の本会活動計画確認） ➤ 助成事業実施報告書提出（3/2 締切） ➤ 関係機関・団体、グループへの協力お礼 	

5. 本事業の財源について

- (1) 赤い羽根共同募金 地域福祉促進事業
- (2) 静岡県コミュニティづくり推進協議会「コミュニティ活動集団助成事業」

6. 本事業の問い合わせ先

- 〒425-0044 焼津市石津向町 15-17 デイビーズ百の木石津内 焼津福祉文化共創研究会事務局
Tel. 054-623-3665 Fax. 054-656-3731
- 〒425-0041 焼津市石津 751-1 焼津福祉文化共創研究会 代表 平田 厚
Tel. & Fax. 054-624-1924

焼津福祉文化共創研究会 会員

平 田 厚 (代表)
 望 月 旬 子
 原 崎 幸 子
 望 月 隆 仁
 河 野 惠 介
 大 澤 雅 晴
 安 倍 孝 至
 平 山 和 子
 飯 嶋 諭 以 子
 橋 本 和 子
 橋 本 雄 介
 山 梨 恵 子
 渡 邊 徹
 原 崎 洋 一



事務局：
 〒425-0044 焼津市石津向町 15-17
 デイサービス百の木石津内
 Tel. : 054-623-3665 Fax. : 054-656-3731

若者発 近所福祉かるた 誕生の由来

- ・静岡県内在住の学生が、高齢者宅を訪問し、読み札を考案
- ・作画は、静岡県島田市在住の漫画家 法月 理栄氏の好意で実現
- ・赤い羽根共同募金の助成で100セット作成し、県内各所に配布
- ・地元優良企業の協力を得て拡大版を2セット製作
- ・静岡県内各地の教育機関や居場所・サロン・認知症カフェ等に無料で貸し出し、有効活用

発行年月日: 2016年(平成28年)2月6日

企画 製作: 静岡福祉文化を考える会

作 画: 漫画家 法月 理栄氏(静岡県島田市在住)

協 力: 共創社会実現研究会/若者発“居場所”あり方研究会/常葉大学 学生有志





**港地域の“ご近所”を切り拓く
ホッとする、つながる・ささえあう「あつまる居場所」をめざして
港地域の団体・グループ紹介集**

発行：焼津福祉文化共創研究会

〒425-0044 焼津市石津向町 15-17

デイサービス百の木石津内 焼津福祉文化共創研究会事務局

Tel. 054-623-3665 Fax. 054-656-3731

発行：2020年2月03日

発行所：株式会社 セイコー社 〒425-0091 焼津市八楠3丁目5-17



この事業は、「2019年度赤い羽根共同募金地域福祉活動促進事業」の助成を受けて実施しました。